

# 「参加者主体」のOJTで 効果をあげる

OJTで教える立場にある人は、教えることが専門の講師や人材開発担当者とは違って、自分の専門分野は他にあり、その専門的な内容を教えなければいけないという方が多いのではないだろうか。ではその専門内容についてわかりやすい説明ができる話法を磨けば、効果的なOJTができるのだろうか。「トレーナー養成ワークショップ」で、「参加者主体」の重要性を説くダイナミックヒューマンキャピタル株式会社の代表取締役中村文子氏にお話をうかがった。

『聞いても忘れる。見ると覚えている。行動すると意味を理解できる。』紀元前451年の孔子の言葉です。

研修やOJTで誰かに何かを教えるとき、「説明する」ことは「教える」ことの一部ではあっても、「説明する」ことで「教える」ことが完了するわけではありません。それはこの言葉にも端的に表現されていますが、聞いただけでは忘れてしまうからです。ですから、研修やOJTではビジュアル教材を使用したり、お手本を見せたり、という方法で視覚に訴え、さらに練習する（行動する）機会を提供することが大切なのです。

それに則って、OJT等で何かを教える場合に一般的によく行われるのが、教える人が説明してお手本を見せた後、学ぶ人が実践してみる、それに対してフィードバックし、もう一度実践してみる、というようなプロセスである。

そこで、そのプロセスをより効果的にする「参加者主体」の特徴をさらにかがった。

ボブ・パイク氏が提唱する「参加者主体」のアプローチでは、そこからさらに学ぶ人が実際に「行動を起こす」ことを重視します。講師・上司という教える人の講

義や説明が主体のアプローチに対して、「参加者主体」のアプローチでは、学ぶ人が「行動する」機会が多いのが特徴です。

それは学んだことを練習する、ということにとどまらず、学んだ内容をどこでどう実践していくかを自分で考えて、自分で決定する。その考えを書いたり誰かと共有したりする。実践していくことに優先順位をつけたり、具体的な行動計画に落とし込んだりする。自分が学んだことを誰か他の人に教える。というようなことを研修中に何度か行います。

自分が今後何をどう実践していくかを自分の言葉で他の人に伝える、ということをしつくり返し行っていくうちに、その言葉に対して自己責任を持ち、「話す」という行動を通して記憶に残り、本当の意味での理解がなされ、実践に結びつく確率が上がるのです。

学ぶ人の主体性を高め「参加者主体」に学ぶ環境を作り出すのに、考慮すべき2つの「ラジオ局」があるという。

WII-FM (What's In It For Me?) と、MMFI-AM (Make Me Feel Important About Myself) という2つの局だそう。人間はこの2つの局からの情報に注意が向いているものなので、ここに適切な情報を流すこと

で主体性やモチベーションを上げる工夫ができるというのである。

WII-FMは、『自分にとってのメリットは何か?』というものです。つまり、学ぶ人は、この内容を学ぶことで自分にどんなメリットがあるのかを知ることにより、モチベーションが上がるのです。例えばOJTでこの業務を学ぶことが自分の今後の業務の幅を広げる、次のステップへの重要な基礎である、今後のキャリアや自分の仕事にとって意義のあることである、というようなことをいかに学ぶ側の個人レベルに落とし込んで伝えられるかというのが重要なのです。

MMFI-AMは、『自分が重要な人物であると感じる』ことなので、学ぶ人が、自分の存在価値や貢献が認められることを通してモチベーションを高めるという考えです。今、自分がこの業務を覚えて担当することがチームや会社にとって必要とされていることである、業務で成果を出すことが期待されている、といったことが実感できるようにしていくことが大切なのです。これくらいの業務はできて当然、という考えではなく、知識が増えた

こと、スキルが身についたことを認め、その貢献に感謝するということを怠ってはいけません。

この2つの『ラジオ局』を通して情報を流し、部下のやる気を高め、OJTを効果的に行う工夫をしてみてください、と言う。

「参加者主体」の教え方を学ぶことができるダイナミックヒューマンキャピタルが開催する「トレーナー養成ワークショップ」では、こうした手法を体験しながら習得することができる。また、日本能率協会マネジメント



センターから出版された『クリエイティブ・トレーニング・テクニク・ハンドブック 第3版』(ロバート・パイク著 中村文字子監訳)でもこの手法が紹介されている。

教え方が変われば、成果が変わる

<http://www.d-hc.com>

# 参加者主体のOJTで部下の可能性を引き出ませんか?

参加者のモチベーションと主体性を高める教授方法が学べる2日間の「トレーナー養成ワークショップ」

## BOB PIKE'S TRAIN-THE-TRAINER BOOT CAMP

参加者主体の  
トレーニングテクニクを  
採用することにより



トレーナー養成ワークショップの生みの親  
ボブ・パイク氏と、弊社代表中村文字子

あなたの研修に参加する人の**記憶保持率が90%以上アップ!!**  
**学んだことを実践する割合を75%アップ!!**

研修の**作成と実施に要する時間を25%削減!!**が可能になります。

- 日程1 2009年2月18日[水]~19日[木]
- 日程2 2009年5月19日[火]~20日[水]
- 日程3 2009年9月8日[火]~9日[水]
- 日程4 2009年11月18日[水]~19日[木]

- ◎時間: 9:30 ~ 17:00 (全日程共通)
- ◎会場: 日程1、2、4...ヒルトン東京 日程3...ヒルトン大阪
- ◎講師: 中村文字子 ダイナミックヒューマンキャピタル株式会社 代表取締役  
ザ・ボブ・パイク・グループ認定トレーナー
- ◎参加費: 1名 115,500円 (テキスト代込み)

社内での開催も承ります。また、クリエイティブ・トレーニング・テクニクを活用して、御社既存のコンテンツを生まれ変わらせるコンサルティングも行っております。

◎お問い合わせ

### Dynamic Human Capital

ダイナミックヒューマンキャピタル株式会社 トレーナー養成ワークショップ係  
〒220-0023 横浜市西区平沼 1-14-3-702

TEL 03-5282-3029 FAX 03-5283-8416 E-mail info@d-hc.com